

ONE PIECE



輸送サービス労組 上野支部

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION -UENO-

2025. 10.13 No.28

2025年10月10日に発行された週刊東洋経済オンライン西岡研介氏連載の第5弾『JR東日本「過半数代表選挙」星取表から漏れ出る会社の本音』が掲載されました。労働者の代表を決める選挙は選挙事務を行うにしても労働者自身で決めればよいものです。それを殊更会社でやると引かず、挙句の果てには会社側の意志を持った社友会の人間が立候補し、会社の意志を貫徹させようと躍起になっています。星取表のその他の欄には戦評として会社の本音が出ています。ここまでしても会社が関与していないとは言わせません。

今、どの系統であっても要員が足りておらず、勤務に穴が開いたり、ダミーの人間が登場している職場が発生しているのも事実です。そのような会社施策に追随する組織、それが社友会なのです。

その社友会はこの間のジョブローテーションの名のもとに行われている強制転勤、組織再編・新人事賃金制度、ワンマン運転施策など、私たち現場で働く労働者の雇用に直結する問題にも問題とせず施策の推進部隊に成り下がっています。

このような社員・組合員の声を聞かない「今だけ、金だけ、自分だけ」自分の出世しか考えない一部社友会の人間を労働者の代表として選出するのは決して相応しくありません。ましてやそこに会社の意志が入るのならば公平ではありません。そもそも会社の意志が入ってしまっは駄目なのです。

組合員・良識ある組合未加入者へ改めて訴えます！私たちの将来は、私たちの手で切り拓いていかなければなりません。私たち労働者は社会を形成する一員ではあるものの、会社の操り人形やコマとして動いているではありません。明日の生活のため、家族の幸せのために一所懸命になって働いています。その大きな一歩が次なる過半数代表選挙での労働者の意見をしっかり汲み取り、物を言う輸送サービス労組が推薦する労働者へ票を投じていくことです！

輸送サービス労組に結集しよう！輸送サービス労組は地道に職場で働く仲間の思いに立ち職場からの実践で
 明るい職場とモチベーションある職場環境をつくり出していきます！

JR東日本が作成していた「過半数代表選挙」の星取表（イメージ）

No.	系統	業務機関	職名	2021年度立候補者		社員数(2/1現在)			結果	備考	
				氏名	得票数	社員	Ts	総数			友
1	通車	〇〇運転区	業務	目黒 那智信	1	34	304	115	110	3月3日	
			(主)	大崎 勝利	Q						
2	通車	〇〇運転区	業務	蒲田 太郎	1	296	296	111	113	2月28日	128
			(主)	大森 一郎	Q						
3	通車	〇〇運転区	業務	新藤 次郎	1	248	248	68	64	2月28日	101
			(主)	代々木 花子	Q						
4	通車	〇〇運転区	業務	豊島 三郎	1	314	314	73	104	2月28日	140
			(主)	板橋 イチロー	Q						
5	通車	〇〇運転区	業務	足立 四郎	1	238	238		77	2月28日	
			(主)	葛飾 さくら	Q						
6	通車	〇〇運転区	業務	印旗 健之助	1	253	253	86	79	2月28日	80
			(主)	東葛 弥太郎	Q						
7	通車	〇〇運転区	業務	砂越 敏夫	1	270	270	105	45	2月28日	37
			(主)	千代田 冬美	Q						
8	通車	〇〇運転区	業務	八重洲 秋雄	1	83	83	30	27	2月28日	
			(主)	江東 智	Q						
9	通車	〇〇運転区	業務	前年度信任投票							
			(主)	中野 桃花	1	177	177		64	2月28日	
			(主)	杉並 隆夫	Q						

中略

その他

本人も審判が審かかったために落胆大きい。審判者も厳しい結果に悔しい思い。

区内活動の活性化と反比例でQ得票数が激増

中堅層へのアプローチでじりじりと審が縮も。信任投票に持ち込みまで。

候補者の他人の入室に関する不安がそのまま反映する結果となった。友の人数も大幅に下回る。

社員数の増加が双方にそれぞれ反映。依然その差は非常に大きい。

大層に得票数を伸ばして任職。内勤者の同世代がサポート

Q候補者交代

内勤も選挙でQ信任投票へ。区内の朝向きな取り組みで徐々に変化は出ている。

Q候補者交代

女性候補を立てても友の人数を下回る結果に。

発覚！会社の関与が明らか！